

令和4年8月3日からの大雨に係る青森県災害対策本部会議 議事録

日時：令和4年8月9日（火）17：50～18：18

場所：第三応接室

○築田危機管理局次長

お待たせいたしました。それでは、ただいまから、令和4年8月3日からの大雨に係る青森県災害対策本部会議を開催いたします。本日の手話通訳者は、飯田勝英さんです。

はじめに、これまでの気象の状況と今後の見通しについて、青森地方気象台 安ヶ平次長から御説明をお願いいたします。

○安ヶ平青森地方気象台次長

青森地方気象台次長の安ヶ平でございます。よろしくお願いいたします。

前線による大雨について説明をいたします。資料を御覧ください。前線によるこの大雨について、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に嚴重に警戒が必要です。ポイントといたしましては、青森県では9日朝から断続的に非常に激しい雨が降り、これまでの記録を更新するような大雨となっている所があります。11日にかけて、雷を伴った非常に激しい雨が降り、大雨となる所があります。引き続き、向こう1週間程度、警報級の大雨の可能性あります。

概況です。前線は、向こう1週間程度、北日本に停滞する見込みです。前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込むため、北日本中心に、これは青森県を含みますが、11日にかけて大気の状態が非常に不安定となり、その後もその状態が続く見込みです。

大雨につきましては、青森県では局地的に猛烈な雨が降り、土砂災害、浸水害、洪水害の危険度が高まっている所が、現在あります。青森県では11日にかけて、雷を伴った非常に激しい雨が降り、大雨となる所があり、その後も雨量が多くなる恐れがありますので、嚴重な警戒が必要です。

警戒事項といたしましては、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に嚴重に警戒、落雷や竜巻などの激しい突風に注意、となっています。

次のページです。細かい所を少し説明します。前線が青森県の北側に、東西に長く連なっておりまして、太平洋高気圧から暖かく湿った空気が青森県に流れ込み続けるような気象状況となっております。これは、今後も続くというふうに見られます。

これに対応して、気象衛星で見た雲の方も、青森県に発達したものがかかっておりまして、更に、朝鮮半島付近にも白く輝く発達した雲が見られます。こういったものが今夜以降、また青森県に流れ込むといった予想となっておりますので、警戒が必要という状況です。

次のページです。これは、明日朝9時の予想天気です。今日とほとんど前線の位置は変わりません。引き続き、暖かく湿った空気が青森県に流れ込む状況となっております。雨はまだ続きます。

次のページです。さらに今後1週間の見通しとなりますけれども、11日、これは明後日ですが、このハッチがかかった降水が予想されるエリアが、東北地方にかかっておりまして、この付近が前線に対応します。このように、明後日以降も青森県付近には、降水が予想される部分がかかりまして、強さのほどはまだわかりませんが、少なくとも雨が降りやすい状況が1週間続くというふうなところで見えております。

次のページです。大雨の警報となる警報級の現象となる可能性のある期間ですが、現在は、大雨・洪水警報を、今日の夜遅くまでとして発表しております。次の切り替えでは、明日の昼前までということで延長する見込みとなっております。さらに、その後も前線が停滞するため、おそらく明後日11日ぐらいまでは、津軽地方を中心に警報が発表されやすい気象状況が続くというふうに見えております。下北、三八上北につきましては、津軽ほどではありませんが、まだ当面は警報の発表されやすい状況が続くといったところで、このような警報の可能性が中程度あるような期間は、13日まで続くというふうに見えております。かなり長い期間の警戒が必要ということになります。まずは、目先の明日昼前まで、そして11日にかけてのところについて、危険度が高くなりやすいといったところになっております。

次のページです。今後の雨量の予想です。1時間降水量の最大としましては、これは雨の激しさを表しますけれども、津軽を見ますと、今夜のところは、津軽は60ミリの非常に激しい雨。明日の昼前にかけて50ミリの非常に激しい雨が予想されております。警報の期間は、明日の昼前までと考えておりますけれども、明後日まで延長する可能性が十分にあるといったところではあります。また、24時間の雨量ということでいきますと、今日の18時から明日の18時までの24時間、津軽ではさらに200ミリ、これまでも200ミリ以上降っている所がありますけれども、さらに200ミリ降る所があります。その後の24時間でも、100ミリから150ミリというところになりますので、向こう48時間でいきますと、300ミリ近い降水量になる所が出てくるのではないかと考えて

おります。津軽が今のところ最も多い雨量が予想されておりますけれども、下北、三八上北についても、雨量が多い状況となりますので、油断のないようにお願いいたします。説明は省略いたします。

最後ですが、今後、気象庁ホームページで御確認いただきたい項目を挙げておきました。最新の情報を利用して嚴重な警戒をお願いいたします。

气象台からの説明は、以上です。

○築田危機管理局次長

ありがとうございました。

次に、本日15時現在における災害対策本部の対応状況等について、統括調整部から説明があります。

○橋本統括調整部長

それでは、「令和4年8月9日の大雨に係る被害等の状況について（第2報）」に基づいて、概要を御説明いたします。

この第2報は、8月9日15時時点の取りまとめのものです。これ以降も、順次被害状況等については調査が進められていますが、現時点では、この15時時点のものとさせていただきます。

被害の状況ですが、人的被害についての情報は、この時点では入ってきておりません。建物被害については、床下浸水1戸となっておりますが、その後も河川の状況等は変わっておりますので、調査は現在も続けている状況です。

避難指示発令及び避難所の状況については、資料の後ろの方に別紙1として一覧表が付いています。各市町村の対応は現在も続いておりますので、こちらはあくまでも15時時点のものとして御覧いただきたいと思います。

ライフラインの状況については、深浦町で停電が発生していたということです。

道路の状況や河川の状況については、後ほど県土整備部から詳細な説明があります。道路や河川の状況により、孤立する状況も想定されます。このような状況についても、現在も調査を行っております。現時点では、確定した情報はない状況となっております。

交通の状況ですが、鉄道を中心に、主に津軽方面の各線区において一部運休や全線運休等が発生しているという状況です。

2ページ目の下の方にある農林関係、商工関係、観光関係等についての状況は、調査

中又は現時点で被害情報なしとなっております。

最後の3ページ目ですが、これまで県の行った措置についてです。これまで「令和4年8月3日の大雨に係る災害対策本部」としていましたが、今回の大雨災害も含め、「令和4年8月3日からの大雨に係る青森県災害対策本部」として、両者一体で災害対策に当たって行くことと形へ切り替えさせていただきましたので、この点についても報告させていただきます。

私の方からは、以上です。

○築田危機管理局次長

続きまして、道路・河川の状況等について県土整備部から説明があります。

○宮本県土整備部長

県土整備部から御報告いたします。

まず、河川の状況です。河川の状況は、別途A4横の1枚紙、「R4.8.9豪雨 河川状況（R4.8.9 16時時点）」というものをお手元にお配りしております。

現在、これまでに氾濫危険水位を超過している河川で、県が管理する河川といたしましては、紫で色を塗っている河川の4河川で把握をしておりますが、ほかにも水系統の付いていない中小の河川もたくさんありますので、そちらの状況については、詳細はわからないというか、溢れているような所もあるのかなというふうに考えております。

この中で、中村川ですが、氾濫危険水位超過と書いておりまして、川の真ん中の所に溢水発生ということで書いております。右の方に、中村川の状況の写真をつけておりますが、溢水が発生しております。田んぼが浸かっているような写真もありますし、あとはちょっと写真がなくて未確認ではありますが、下流の方で市街地の方も中村川が溢水をして、かなり浸水をしているというような情報もありますけれども、まだそれについては、詳細は調査中であります。現在中村川は、過去、平成25年に既往の最高の水位を記録しておりまして、それを超えて水位が上昇しているといった状況になっているということでもあります。

ほかに十川、平川で避難判断水位を超過しているということ、それからここに記載はありませんが、二重線で書いている、直轄が管理する岩木川についても、氾濫危険水位を超過したということでもあります。いずれにしても、雨の状況によって河川の水位は今

後もかなり大きく上昇するようなことになるのかなというふうに考えております。河川の状況については以上でして、次に道路の関係です。

先ほど統括調整部長から説明のあった第2報の、後ろから2枚目の所に、道路の規制の状況の表をつけてあります。別紙2と書いたものです。通行規制ということで、冠水や土砂流出ということで8区間ほど、規制をかけているということでもあります。場所については次のページに、番号を対応する形で場所は落としております。

この中で、17番と書いた所、国道101号の深浦町ですが、五能線の白神岳登山口の駅のすぐ近辺だというふうに今のところ聞いておりますが、そちらで土砂流出、土砂崩れのような形でいくつか発生をして、その区間で通行止めをかけているということもございます。ここについては、少し迂回路がないような所の通行止めになっているということです。

ほかの区間については、全て迂回路等が確保されているような状況ということですので、いずれにしてもまだ被害が拡大しつつあって、状況を把握しているところですので、これで全てということではありませんけれども、現時点で把握しているものは以上でございます。

○築田危機管理局次長

このほかに、各部及び各県民局から何か御説明等あれば、発言をお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、本部長から指示事項がございます。

○青山副本部長

本日、前線の影響で津軽を中心に激しい雨が降り、県内各地で土砂災害警戒情報等が発表されるとともに、岩木川水系や中村川、浪岡川で氾濫危険水位を超え、土砂崩れや冠水、浸水等の被害も多数発生しています。

県では、「8月3日の大雨に係る青森県災害対策本部」態勢を継続していましたが、本日の状況を踏まえ、「8月3日からの大雨に係る青森県災害対策本部」に切り替え、住民の命を守るため、関係機関と連携し、情報収集や被害の把握に努めているところであります。

現在、弘前市における「緊急安全確保」の発令をはじめ、各地で「避難指示」が発令されているほか、全県において被害の発生又は被害のおそれがあり、引き続き人命最優先で対応に当たる必要があります。

知事からの指示事項として、関係部局及び地方支部にあつては、人的被害や要救助者等について、その把握と対応に全力を挙げるとともに、道路の被害や土砂崩れ、河川の氾濫等の状況を把握し、応急対応や復旧に向けた取組を進めてください。また、今夜から明日にかけて各地で大雨が降る可能性があり、更に被害が拡大するおそれもありますので、対応に万全を期すようお願いいたします。

以上、引き続き、市町村及び関係機関とも連携しながら、全庁一丸となって、迅速かつ正確な情報収集と分析を行い、災害対応に臨むよう指示します。

今回の災害により被災された地域の皆様方に対して、心よりお見舞い申し上げます。

気象状況は、前線が停滞していることから、今夜から明日にかけて各地で大雨が降る可能性があり、更に被害が拡大するおそれもあります。

被災地域にお住いの皆様方におかれましては、引き続き気象情報や市町村の発令する避難情報に十分注意し、早めに災害から身を守る行動を取るようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症により自宅療養中の方もいらっしゃると思いますが、氾濫等が差し迫っている場合は、命を守るために、自宅療養中でも速やかに市町村が設置する避難所に避難してください。また、避難所に入る際は、自ら自宅療養者である旨を申し出るようお願いいたします。

避難者の方をはじめ、不安な思いを抱えながら過ごされている方々も多いものと思っておりますが、現在、県、市町村及び関係機関が全力を挙げて取り組んでおりますので、御理解と御協力をよろしくをお願いいたします。

○築田危機管理局次長

以上をもちまして、本日の災害対策本部会議を終了いたします。